

No.	017	—	2001	事務事業名	滞納整理事務							公的関与	3	
PLAN	課名	上下水道課		係名	料金係		電話番号	089-964-4416		メールアドレス	jogesuido@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	経常的事務事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	4 上下水道等の整備			主要施策	3 水道事業の健全運営			
	事業の目的	水道料金が滞納となっている債権を徴収するため。					根拠法令等	水道給水条例、水道給水停止処分に関する規程						
	事業の手段	計画的な滞納整理を実施します。					掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		水道料金の収納率		収納額 / 調定額			%	目標	99	99	99	100		
								実績	94	95				
								目標						
								実績						
						目標								
						実績								
活動内容	①	滞納者を抽出し、督促状、給水停止措置を含めた催告書等の発送。				④								
	②	分納誓約者に対する再誓約の案内、納付催促の連絡。				⑤								
	③													
予算費目	会計	水道事業会計				費目名	費							
直接事業費			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考								
	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円									
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源		340 千円	350 千円	657 千円									
	計(A)		340 千円	350 千円	657 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.339 人	2,103 千円	0.359 人	2,266 千円	0.359 人	2,266 千円							
	臨時職員工数・経費	0.314 人	621 千円	0.314 人	636 千円	0.314 人	636 千円							
全体事業費(A+B)		3,065 千円		3,252 千円		3,559 千円								
一次評価者	料金係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
必要性	公平性の見地から100%に近い収納率を目指して事業を実施していく必要があります。													
有効性	督促状の送付、給水停止措置を含めた催告書の送付、納付相談を継続していく必要があります。また、関係各課と協力して滞納整理を行います。													
達成度	収納率は年々向上しているため、概ね目標は達成していますが、更なる滞納整理を実施していきます。													
効率性	中長期的な滞納整理計画の作成、継続可能な滞納整理の実施に加え、トータル収納の導入を他部署と連携し、導入を検討する必要があります。													
当面の課題	納付相談、分納誓約書の提出、催告書の送付、給水停止の執行等滞納整理計画に基づく事業の実施により、収納率は向上していますが、更なる滞納整理の推進が課題です。													
改 革 画	関係部署との連携して業務を推進するとともに、納付の機会を増やすためのトータル収納の導入について市全体での検討が必要です。													
二次評価者	上下水道課長	総合評価点	C	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
二次評価での指摘事項	現年度未納の早期の対策が過年度滞納の抑制・削減につながるため、今後も継続して下さい。課内では料金係以外の係と税務課債権管理室とも協力・連携して業務に当たってください。また、トータル収納についても情報収集等を継続してください。													

No.	017	—	2002	事務事業名	検針事業							公的関与	3	
PLAN	課名	上下水道課		係名	料金係		電話番号	089-964-4416		メールアドレス	jogesuido@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	経常的事務事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	年度 ~ 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	4 上下水道等の整備			主要施策	3 水道事業の健全運営			
	事業の目的	上下水道料金を適切に賦課するため。						根拠法令等	水道給水条例、水道メーター一点検事務委託規程					
	事業の手段	異動処理を適切に行い、ハンディターミナルへの情報の取込み及び検針台帳を作成した上で、検針員に量水器の検針を委託します。						掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標		
		検針員名簿への登録者数		検針員の高齢化に伴い、新規検針員の確保が必要なため。				人	目標	20	20	22	24	
		実績							実績	19	18			
		未検針、検針誤り件数		適切な料金賦課を行うため。				件/期	目標	20	15	10	0	
		実績							実績	20	30			
目標							目標							
実績							実績							
活動内容	①	広報等により募集記事を掲載し、新規検針員を確保する。					④							
	②	新規の異動処理等を適切に行い、検針データ及び検針台帳を作成する。					⑤							
	③													
DO	予算費目	会計	水道事業会計				費目名	総係				費		
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考								
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	7,843 千円	7,843 千円	7,980 千円									
	計(A)	7,843 千円	7,843 千円	7,980 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.253 人	1,570 千円	0.243 人	1,534 千円	0.243 人	1,534 千円						
		臨時職員工数・経費	0.065 人	129 千円	0.065 人	132 千円	0.065 人	132 千円						
	全体事業費(A+B)		9,541 千円	9,508 千円	9,645 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	料金係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
	必要性	検針事業は、適切な料金賦課のために必要な事業ではありますが、実施方法等において改善の余地があると考えています。												
	有効性	正確な料金賦課のために必要ではありますが、より一層の効率化を検討する必要があります。												
	達成度	未検針箇所数の増加や検針員登録者数の減少により、成果があまり上がっていない部分があります。												
	効率性	効率性の観点から、民間委託の活用等を含め実施手段等を検討する必要があると考えています。												
	当面の課題	検針箇所数が増加傾向であるのに対し、検針員の高齢化や辞退者の増加、未検針箇所数の増加が課題となっています。												
	改革計画	広報等に募集記事を掲載し検針員の確保を図るとともに、検針事業の民間委託についても検討を行っていきます。												
二次評価者	上下水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
二次評価での指摘事項	当面の課題にもあるように、検針員の辞退と新規の担い手不足が懸念されてきています。現在の個人契約以外の手法の調査・検討を行っていくようにしてください。													

No.	017	—	3008	事務事業名	処理場建設改良費（公共下水道）						公的関与	3		
PLAN	課名	上下水道課		係名	整備係		電話番号	089-964-4416		メールアドレス	jogesuido@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	施設の維持管理			事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	平成 30 年度 ~ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	2 安全で快適な社会基盤のまち			政策項目	4 上下水道等の整備			主要施策	6 下水道事業の健全運営			
	事業の目的	下水道施設の老朽化が進行する中、将来にわたり持続可能な下水道事業を実現するため。						根拠法令等	下水道法					
	事業の手段	長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮しリスク評価等による優先順位付けを行ったうえ、施設の点検・調査、修繕・改築等を実施します。						掲載計画	国土強靱化地域計画					
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
		川内浄化センターにおける放流水の水質総量規制基準超過日数	汚水処理能力の維持確認			日	目標	0	0	0	0			
							実績	1	0					
		重信浄化センターにおける放流水の水質総量規制基準超過日数	汚水処理能力の維持確認			日	目標	0	0	0	0			
							実績	0	0					
						目標								
					実績									
活動内容	①	浄化センター改築工事委託協定の締結				④								
	②	浄化センター改築工事に伴う関係業者・団体との協議調整				⑤								
	③	国の交付金の交付・請求事務												
DO	予算費目	会計	下水道事業会計			費目名	処理場建設改良費							
	直接事業費		令和 2 年度決算	令和 3 年度決算	令和 4 年度予算	備考								
		国・県支出金	2,000 千円	14,800 千円	123,637 千円									
		地方債	2,000 千円	12,110 千円	14,363 千円									
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円									
		計(A)	4,000 千円	26,910 千円	138,000 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.557 人	3,456 千円	1.265 人	7,985 千円	1.265 人	7,985 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
		全体事業費(A+B)	7,456 千円	34,895 千円	145,985 千円									
CHECK・ACTION	一次評価者	整備係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
	必要性	生活環境の向上及び公共用水域の水質保全のための事業であり、施設の処理機能が停止した場合、地域住民の日常生活に重大な影響を及ぼします。												
	有効性	設備の修繕・改築工事を計画的・効果的に実施するため、ストックマネジメント手法を採用しています。また、継続して実施することで事業の目的が達成されます。												
	達成度	令和元年度にストックマネジメント手法により策定した修繕・改築計画に基づき、国へ事業化申請を行い工事を実施しています。												
	効率性	修繕・改築工事には汚水処理設備等の専門的知識を要するため、日本下水道事業団へ委託し、最小限の人員で行っています。												
	当面の課題	コロナ禍の影響により設備機器等の製作・搬入が難航しているため、修繕・改築計画の変更が必要となっています。												
	改計画	国の交付金の充当状況も踏まえ、修繕・改築計画の見直しを検討します。												
二次評価者	上下水道課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善	
二次評価での指摘事項	令和2年度事業が一部繰越となるなど、新型コロナウイルス感染症の拡大が事業にも影響していると思われます。このような社会情勢や国・県からも情報収集を行い、交付金等の情勢把握や今後の計画の検討に繋げて下さい。													